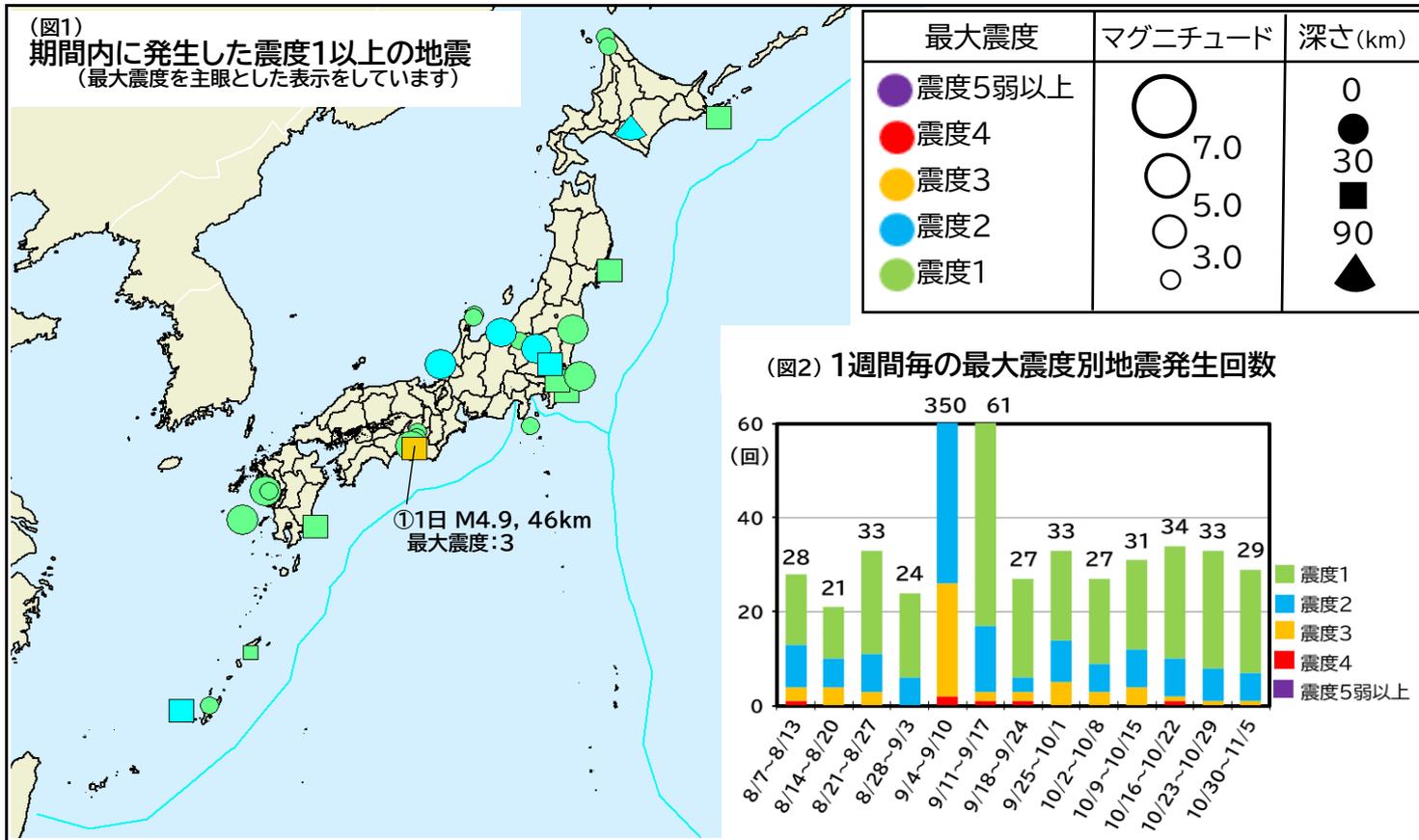


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1, 図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が29回発生。最大震度は3。■

①11月1日07時34分に紀伊水道で発生した地震(M4.9、深さ46km)により、和歌山県田辺市・湯浅町・みなべ町・白浜町・上富田町、徳島県阿南市・那賀町・美浜町で震度3を観測したほか、東海地方から近畿・中国・四国地方にかけての広い範囲で震度2~1を観測(トピックス参照)。

トピックス

■ 紀伊水道の地震活動 ■

- ・1日に発生した地震(M4.9、深さ46km)は、陸のプレートの下に沈み込んでいるフィリピン海プレート内部で発生した横ずれ断層型で、この付近で多く見られるタイプの地震です。
- ・1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2018年11月2日(M5.4、深さ44km、最大震度4:和歌山県有田市など、徳島県那珂町)、2019年3月13日(M5.3、深さ43km、最大震度4:和歌山県有田市など、徳島県徳島市など)などがあります。
- ・南海トラフから沈み込んだフィリピン海プレートは、この付近で複雑な形状をしています。
- ・図3は、沈み込んでいるフィリピン海プレートの上面で発生していると考えられる震源の深さが20km~80kmの地震の地震をプロットしたものです。
- ・この図に見られるように紀伊半島から紀伊水道を通して四国につながる地震活動は、紀伊水道付近で青破線で示したように南側に大きくカーブした形状をしています。このことは、紀伊半島から紀伊水道にかけてのプレートが大きく屈曲していると推定され、複雑なプレート形状をしている所で地震が発生しています。
- ・ちなみに東北地方で同じ見方をした地震活動を図4に示しました。こちらは、海溝軸から並行に等しく並んでいる様子が見られます。

